

フォルケホイスコーレに留学するために

フォルケホイスコーレは、デンマーク発祥で北欧全土に広がる独特の成人教育機関です。17歳半以上であれば、基本的に入学が許されます。70校近くあり、どこの学校も外国人は基本的入学ができますが、授業が基本デンマーク語ですから、デンマーク語のできない外国人が入学できるフォルケホイスコーレは限られてきます。20校ほどです。



フォルケホイスコーレ留学での語学力

まったくできない、というのは、とにかくダメです。フォルケホイスコーレでは、大学、大学院などで学ぶ程度の英語力は必要ありませんが、少なくとも周囲とコミュニケーションできるくらいの語学力（英語）は必要です。それは授業を理解する上でも必要ですが、授業の中での対話するときに必要なになります。授業中意見を求められたとき、なにもいわないわけに行かないからです。「意見をいわないのは罪」に考えなくてはなりません。フォルケホイスコーレは語学学校ではありませんし、基本的に英語のレッスンはありません。英語ができる前提で入学する学校なのです。英語が出来なくてもなんとかなる、とネットで書く人はいます。でもそれはその留学生のために周囲がなんとかしているのであって、本人の力ではないのです。

デンマーク語を学んでいきましょう

フォルケホイスコーレ留学に際してはデンマーク語を是非学んで行ってください。もちろん日本で学んでどれだけ覚えられるか、という疑問もあるかも知れませんが、勉強して行って無駄にはなりません。留学は留学する学校だけの生活で完結しません。フォルケホイスコーレは地域に密着していて、周囲の住民との交流もあります。学校内だけではない出逢いや交流は留学の実りを大きくします。

フォルケホイスコーレの留学費用

月10万円から15万円が目安です。学校に払う費用には授業料、滞在費用、食費、教材費、研修費用、が含まれます。タイプBやタイプCの学校はやや高めです。留学費用はできるだけ用意しておいてください。またできることなら、自分のお金は最後に手をつけるお金と考えて、様々な奨学金を探してみましょう。大学在学中の人なら「トビタテジャパン」などの奨学金は是非利用すべきです。

フォルケホイスコーレという学校制度

フォルケホイスコーレは、日本にはない独特の学校制度で「公教育に縛られないフリースクール」と説明されます。フリースクールといっても、日本語のフリースクールやサポート校のイメージで捉えてしまうと、フォルケホイスコーレそのものを間違えて理解することになります。

日本のフリースクールというと、なんらかの事情で通常の学校にいかない若い人達の居場所、と言われていています。フォルケホイスコーレは、精神的に傷をおった子ども達のリハビリ施設でもなければ、学習の遅れを補完したり高校卒業資格や大学受験資格を取得したり、またなにか特別な資格を得たりするところではないのです。フォルケホイスコーレはフォルケホイスコーレ。実に様々な事を学べますが、それが直接、大学進学につながったり就職につながったりする学びはありません。

キーワードは「対話」

ではフォルケホイスコーレとは、どういう学校なのでしょう。

フォルケホイスコーレには、入学試験も、成績表も、教科書も、卒業証書すらありません。フォルケホイスコーレの教育のキーワードは「対話」です。

デザインを学べるフォルケホイスコーレとして著名な、クラベスホルムフォルケホイスコーレの校長先生の説明を紹介したいと思います。

「私達の学校ではデザインや建築の基礎を学べます。しかしいちばん大切なのは各学校のカリキュラムではありません。私達はデザインを誰のために何のために学ぶのでしょうか。それは社会で暮らす人間のためであり社会のためです。でも私達はその人間や社会の事を知り得ているのでしょうか。フォルケホイスコーレで一番大事なことは、デザインの方法やスキルを学ぶことではなく、人間と社会について学ぶことです。人間とはなにか社会とはなにか。それを教師や生徒達との対話を通じて学ぶことがフォルケホイスコーレでは大切なことなのです。」



フォルケホイスコーレは自分や他人や社会のことを考え、自分の能力や将来を考えるための教育機関なのです。ですからフォルケホイスコーレで何を教えてもらえるのか、ではなく、留学生自身が何を学ぼうとするのが大事です。フォルケホイスコーレでは、やらなくてはならないことはありません。またやってはいけないこともないのです。